

講演2：  
インド国内事務所駐在員による各事務所担当地域の概況

## カルナータカ州

---

日本貿易振興機構（ジェトロ）  
ベンガルール事務所



ジェトロ ベンガルール事務所  
所長 鈴木 隆史

Email : [Takashi\\_Suzuki@jetro.go.jp](mailto:Takashi_Suzuki@jetro.go.jp)

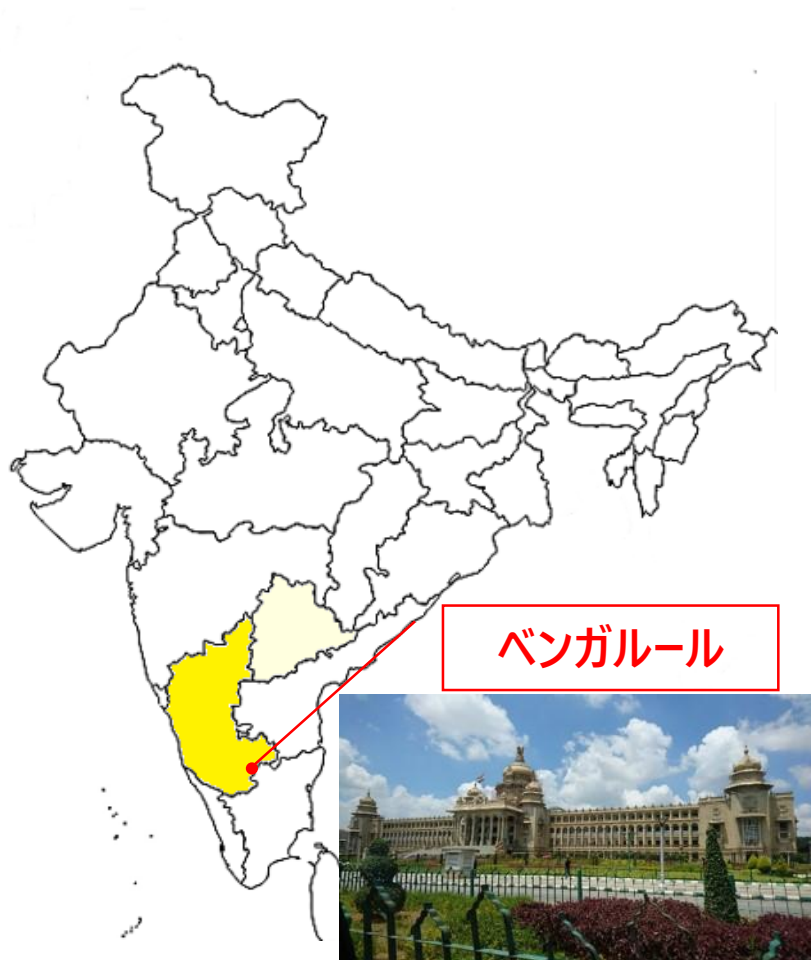
1994年ジェトロ入会、これまでアジア、アフリカを中心とした開発途上国との貿易投資業務に従事。

ナイジェリア、ベルギー、バングラデシュの駐在経験。

2018年7月より現職。

# 1. カルナータカ州の一般概況

他のインド都市には存在しない「快適な気候」「自由な飲食文化」が魅力！



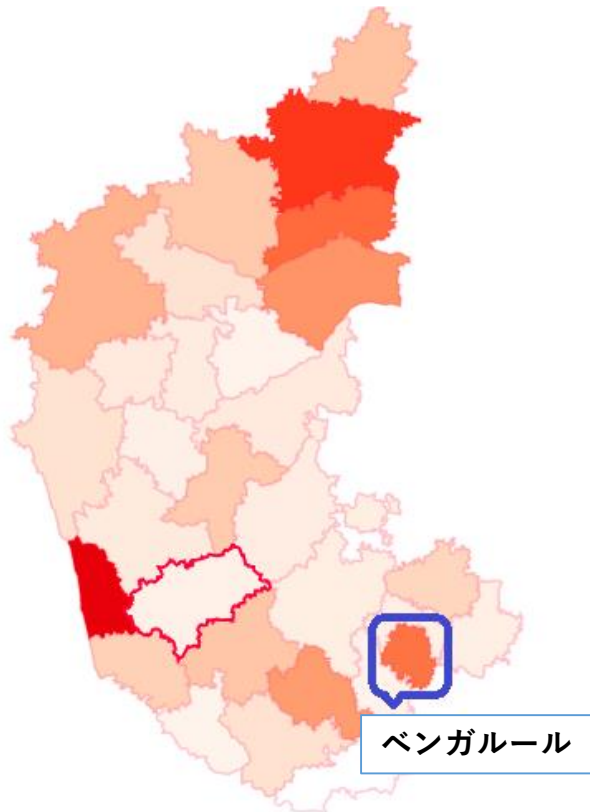
人口	6,109万5,297人(2011年国勢調査、国内8位)
面積	191,791 K m <sup>2</sup> (インド全体第7位)
言語	カンナダ語 (公用)、英語、ヒンディー語
民族	ドラヴィダ系
識字率	75.6% (男性82.8%、女性68.1%)
宗教	ヒンドゥ (約84%)、イスラム (約13%)、キリスト (1.87%)、ジャイナ (0.72%) <small>※2011年国勢調査による</small>
気候	高原都市のため、穏やかで涼しく過ごしやすい
州都	ベンガルール市 (約959万人)
予算	約2兆918億ルピー (約295億ドル) ※18-19年度
GDP	12兆6,900ルピー (1,969億ドル) (17/18年度) 一人当たりGDP：3,001ドル (17/18年度) (参考) India Brand Equity Foundation 州別レポート

2020年ベンガルールー成田直行便が就航予定

(出所) カルナータカ州政府産業局資料

## 2. カルナータカ州の感染状況

(6月9日時点)



カルナータカ州

感染者総数5,760名

治療中3,175名

回復2,519名

死亡64名

ベンガルール市（全人口約1,300万人）

感染者総数493名

治療中176名

回復298名

死亡18名

<https://www.covid19india.org/>

- ・ ロックダウン第4期（5月18日～31日）の拡大傾向
- ・ 主に他州からの感染者流入
- ・ ベンガルール市政府の取り組み効果？  
(Trace, Test, Track, Treatment+α、  
全世帯の72%をDoor to Door調査、等)

# 3. 進出日系企業の状況と課題

## ➤ 再開状況

**製造業関連**：4月24日以降、22地区で工場の操業再開（50%のワーカー数を上限）。

また、5月4日以降は州全体（28地区）でワーカー数100%での工場再開を可能とした。

現時点で州内に立地する工場の約81%が再開。

**サービス企業**：4月24日以降、IT/BPOおよびその他分野のオフィス、事業所も再開。

現時点でほとんどの企業が運営中。但し、職員数は33%上限となっている。

## ➤ 日系企業の現状と課題

**製造業関連**：ほとんどの企業は5月4日以降、順次再開。主なOEMメーカー・トヨタは

5月26日、ホンダ（二輪）も5月27日から生産開始。多くの企業は1シフト操業。

国内需要の回復がまだまだだが、輸出需要に対応して稼働する企業もある。

**IT開発、研究開発（R&D）**：自宅勤務が主流。

## 【課題】

- (1) 国内販売激減：ロックダウンにより国内販売が過去2カ月ほとんどできていない。
- (2) サプライチェーン管理：州間輸送に制限が残る州もあるため、材料や部品調達、客先へ納品などに支障。州境近辺の工場では隣接州からのワーカー通勤にも支障。
- (3) 運営管理：多くの在留邦人が一時帰国（現状ベンガルールに残る日本人は200名程度？）しているため、工場運営に支障が出ているケースも。



# 6月8日のベンガルール市内の様子①



ベンガルール名物「渋滞」復活



「密です・・・」3時のオヤツに群がる方々



酒屋さんは昼から大盛況・・・



- 日本食レストラン「AZUKI」様
- ・店舗営業を2か月ぶりに再開。
  - ・換気の良い屋外テラス席メイン
  - ・従業員はフェースシールド着用
  - ・ロックダウン中もデリバリー継続

# 6月8日のベンガルール市内の様子②



市内最高級ショッピングモール  
「UB City」

閑散としたモール内。ロックダウン中の家賃免除を求めるテナント、50%の割引を認めるデベロッパーも。



入場時に消毒液シャワー室通過



さらに手指消毒



さらに検温



# 4. デジタル技術を活用したインド政府のコロナ対応

## ○追跡アプリの導入

- ▶インド政府は公式アプリ「Aarogya Setu」を開発し、4月から配布開始。
- ▶各州政府も各地のローカル言語に対応した独自のアプリを開発

## ○国民IDを活用した貧困層への現金給付

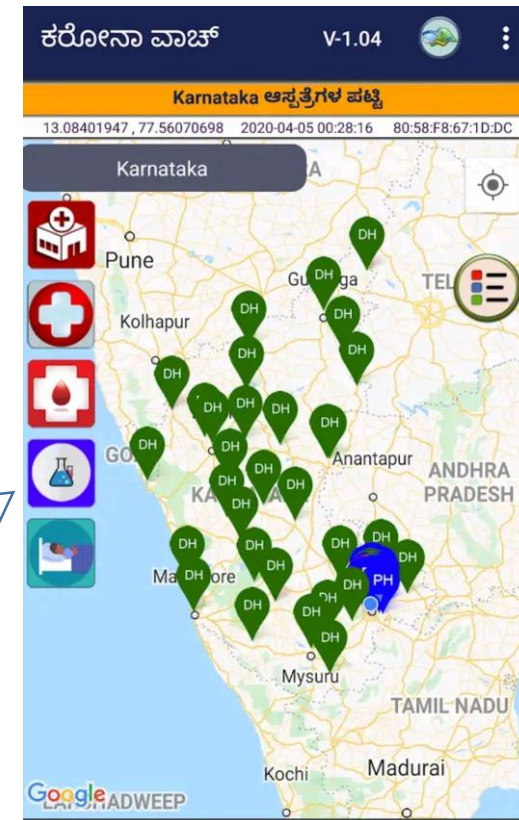
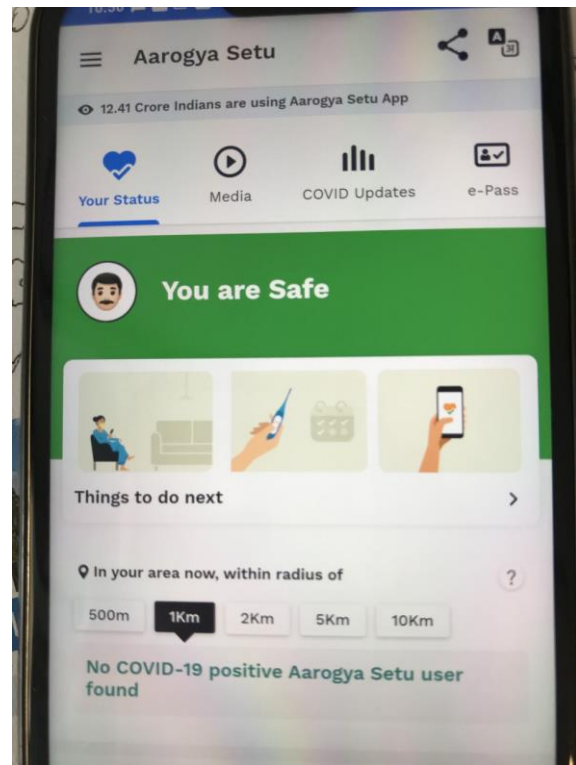
- ▶インド政府のデジタル公共インフラ「インディア・スタック」では、政府が発行する国民ID「アダール」を通じ、貧困層の口座に約3000円を直接給付。

### インド政府公式アプリ「Aarogya Setu」

- ・1億3,000万人の登録
- ・所在地周辺の感染者有無確認
- ・各州政府が発行する国内移動許可（E-pass）と連動
- ・ガラケーにもサービス提供可能

### カルナータカ州政府公式アプリ「Corona Watch」

- ・感染者分布、病院情報など地図を活用した情報が中心
- ・WhatsApp（4億人超）での情報提供、政府ポータルサイトでの出入州パス発行、旅行者事前登録も。





## ○Coronathon (<https://coronathon.in/>)

- ニューデリーのソフトウェアスタートアップ・WingifyのCEO、Parasa Chopra氏がツイッターでコロナ対策のオンラインハッカソンを呼びかけ、翌日にはSlackを利用したオンラインハッカソン開催。2800人近い参加者が100以上のプロジェクトの可能性を議論。
- 4月中旬までに計42プロジェクトについてオンラインデモ実施。
- 招待制で行われたデモには、米国系VCのAccel Partners、プラットフォームを提供するGoogleや国連等の国際機関の政策担当者も参加。

## <主な提案事例>

### ○Safe Zone

隔離患者の監視・コンタクト追跡アプリ。自撮りによる所在地確認や地図情報との連動。グーグルペイが関心表明。

### ○Track-Covid19.org

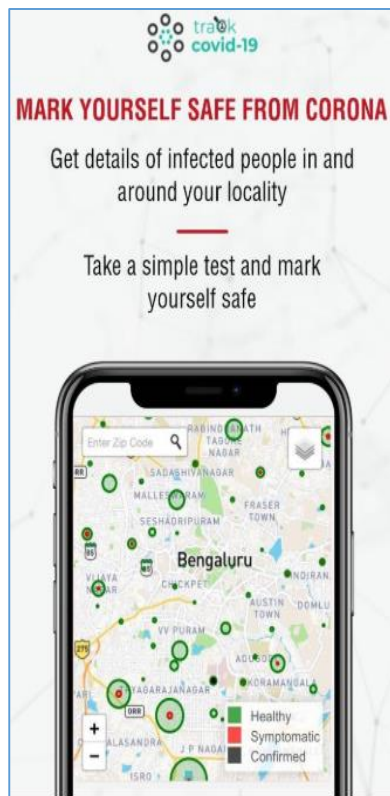
郵便番号と自分の症状を登録することで、症状発生状況を可視化。日本企業と提携した日本版あり。

### ○PPE Tracker

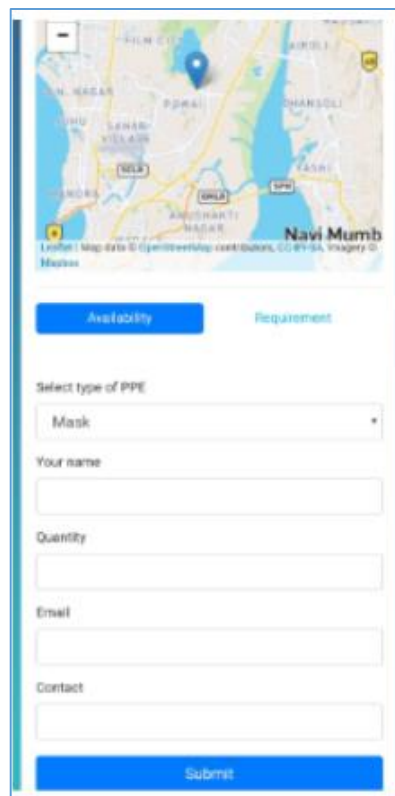
感染防護製品の製造者、寄付者と病院等需要者の需給情報を集約しマッチング。大学、病院と実績。



Safe Zone



Track Covid19

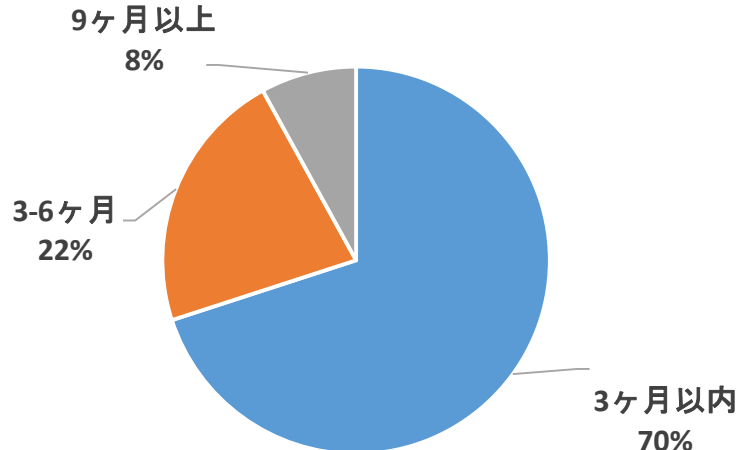


PPE Tracker

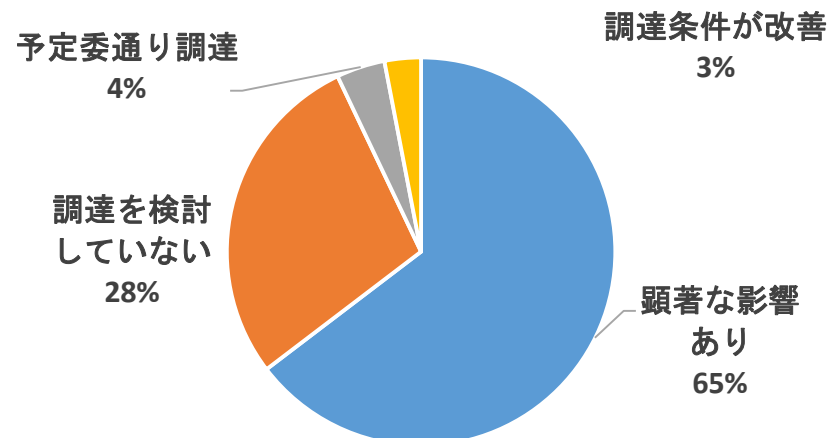
## 6. スタートアップエコシステムへの影響

- ロックダウンによりコワーキングスペース、インキュベ施設も閉鎖。
- 9割のスタートアップが減収となり、4割のスタートアップは業務を中断。  
(OLA,ZOMATO, Swiggyなどのユニコーン企業すら大量解雇の対応)
- 半数以上のスタートアップが新しいビジネスへの転換を検討しているほか、4割近くがヘルスケア等現時点の成長分野への拡大を企図。
- 2月時点で46社7億ドルの資金調達があったが、3月は34社3.5億ドルに減少との報道も。(Economic Times紙5月16日)

インドスタートアップの運転資金保有状況



資金調達への影響



→新たな協業先を探すスタートアップも。特にハードウェアを得意とするインドスタートアップは限られており、日本に関心。

出典：NASSCOM Start-up Pulse Survey – Q1 2020よりJETRO作成

# 7.ポストコロナに向けて（イノベーション、人材）

## ～インドのソフトと日本のハード～

### 奇跡を起こすことができる（モディ首相談）

- ・「旬の長い」大国、慌てず考えていきましょう
- ・ポストコロナのDXはインドの得意分野
- ・これまでインド市場のみに関心、世界は**インドのソフト**に注目し様々な取り組みを進めている（日本は中国、ベトナム）
- ・モノづくり企業が必死で変化を求める時代
- ・旧来型の海外展開→**新たな国際分業モデル**へ
- ・日本の中小企業やスタートアップにこそ可能性

⇒ **インドでのグローバルR&D**

**日本での新機軸事業**（リモート、キャッシュレス、デリバリー、シェアリング, etc…）

**インドに限らないグローバル展開**（インド人の英語力）

# 7-① インド高度人材の活用

## 【インド人材への関心と実際の動き】

- ・ AI、ML、データを扱えるエンジニア=>既に大手中心にIITなどの有名大学で直接採用活動。
- ・ トップ人材の日本企業に対する関心は高まっている？（IITハイデラバード学生の85%が日本の就業関心アリ）
- ・ 日本企業（人材、ベンチャー、私立学校、等）が現地校と協力関係を結ぶケースが複数見られる。
- ・ 年収300万~400万円、IT人材、NC機械、CAD/CAM等を扱う人材を日本で雇用=>このレンジの採用が増加
- ・ ソフトウェア/アプリケーション開発=>ベトナム、バングラ等の関心の方が高い？（インド人は日本語がダメ、高い）
- ・ 介護人材=>技能実習を通じて取り組む人材会社が出てきたが、アセアン人材への関心の方が高い。

## 【インド人材活用に向けた考え方】

「100年に一度の変革~製造業の在り方の変化」

「インドのソフトx日本のハード」（インドに対する新しい視点を）

「スタートアップ x 中堅・中小企業 x 大学/研究機関」

- ・ ターバン、カレー、数学、だけじゃない。
- ・ 日本にない発想、環境、社会課題の対応力
- ・ 英語力/語学力/交渉力/アピール力
- ・ その場シノギ文化（ジュガード）と日本が組む
- ・ 世界が求める人材。なぜ日本だけ無関心？
- ・ ギリギリの共通項

The things that makes the world interesting is our difference, not our similarities.

（アップルCEO ティム・クック氏）





## 7-② IITハイデラバード校との採用支援

- 日本企業のインド人学生採用を支援するため、IIT-H就職課、JETRO, JICA共同で**企業説明会「Japan Day」**を2019年9月に実施（2018年よりスタート、2度目の開催）。
- インドのIT人材採用に関心のある**日本のスタートアップ3社を含む5社の日系企業**が各社の事業説明、学生との交流を行った。
- IIT-Hを卒業して日本企業に勤務するOBや日本でのインターン経験者から話を聞く機会にも。前回は上回る**約230名の学生が参加**し、日本での就職に高い関心を寄せた。
- **昨年度は日本企業7社が17名（内13名が事業参加者が採用）を採用し、一昨年度の3社8名から倍増。**
- **2020年はヴァーチャル形式にて、9月以降に開催準備中。**



講堂で日本企業の説明を聞くIITHの学生



日本のスタートアップに就業するOBから説明を聞くIITHの学生



# ご清聴有難うございました



## 【ご注意】

本日の講演内容、資料は情報提供を目的に作成したものです。主催機関および講師は資料作成にはできる限り正確に記載するよう努力しておりますが、その正確性を保証するものではありません。本情報の採否はお客様のご判断で行ってください。また、万一不利益を被る事態が生じても主催機関及び講師は責任を負うことができませんのでご了承ください。